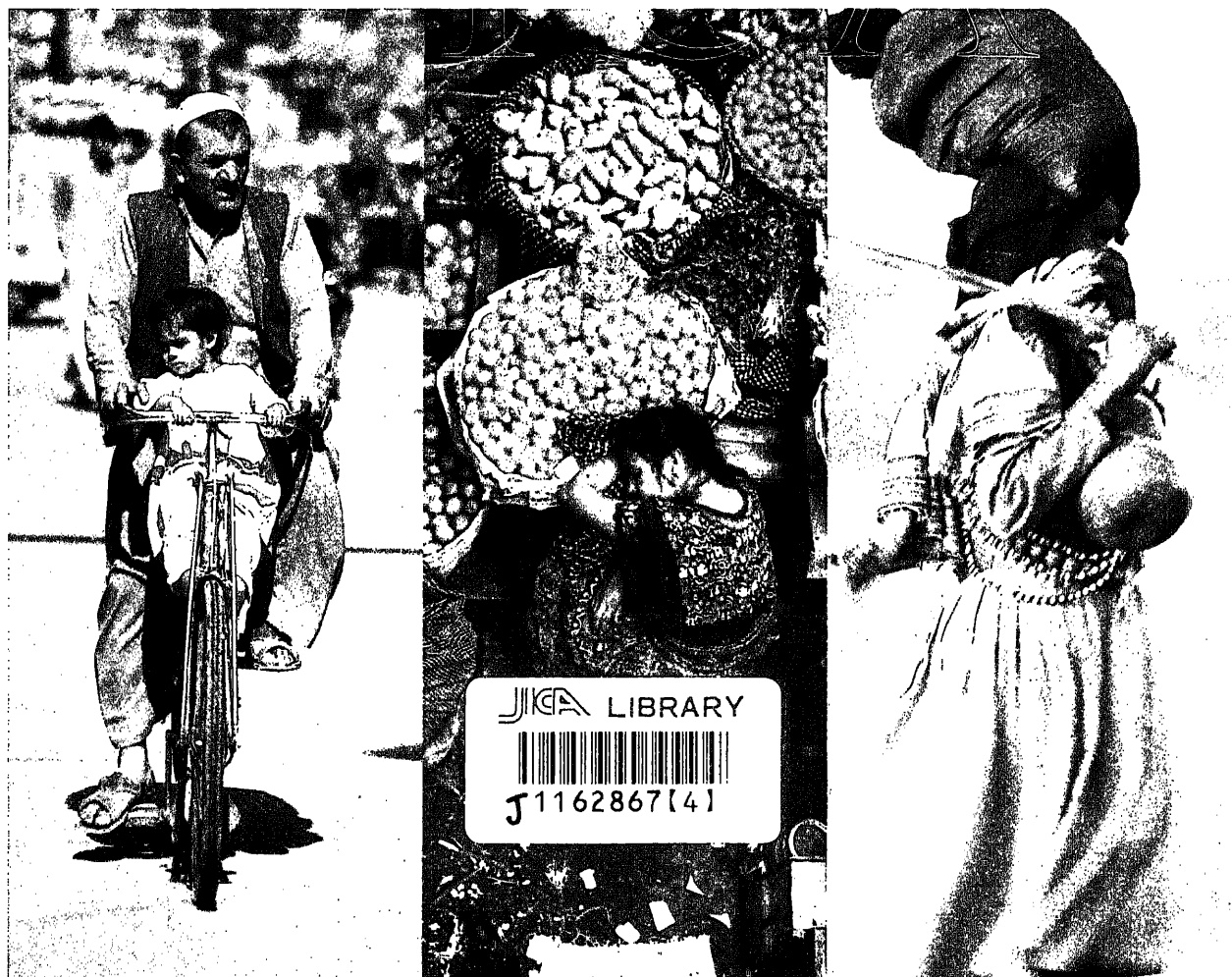


国際協力事業団年報

1995

Japan International Cooperation Agency



JICA LIBRARY



J1162867(4)

国際協力事業団

国際協力事業団年報

・
1995

国際協力事業団



1162867【4】

国際協力事業団年報1995

第1部 国際協力とJICA

第2部 地域別事業概要

第3部 事業への取り組み

付 表 1994年度総括事業実績

参 考 事業団の組織と予算

国際協力事業団年報1995 (資料編)

第4部 国別事業概要

第5部 事業実績・事業統計

—表紙・裏表紙—

表紙右、左、裏表紙／国際協力事業団

表紙中／国際協力フォトコンテスト応募作品

「夢の途中」 中田芳香

序

国際協力事業団（JICA）は1974年に設立されて以来、技術協力や無償資金協力、それに青年海外協力隊の派遣など開発途上国に対する政府ベースの国際協力の実施に携わっており、その前身の海外技術協力事業団発足以来今年で33年になります。

その間冷戦構造は崩壊しましたが、国際社会はいまだにそれに代わる新しい国際秩序の模索を続けていると見受けられます。かかるなかで1992年に国際環境開発会議、1993年に世界人権会議、1994年に国際人口開発会議、また、本年3月に貧困の撲滅を中心テーマとして社会開発サミット、9月に開発と女性（WID）についての世界女性会議が開催され、世界各国がこれら諸問題を人類共通の課題として取り組み、解決に向けて努力をしていることは、これからの世界のあり方を示唆するものとみられます。他方で、先進国については「援助疲れ」といわれる現象も出てきていることは事実であり、そのようななかで「アジアの奇跡」とも呼ばれる東アジアの経済発展に大きな貢献をしたわが国に対する期待は、一段と高まるものと思われます。この認識に立ちわが国は、1992年に政府開発援助（ODA）の基本理念や重点項目を明らかにした「政府開発援助大綱」を、また、1993年にODAを一層充実させるための第5次中期計画をそれぞれ発表し、ODAを国際社会に対する重要な貢献としてその充実に努めています。

以上を背景としてJICAは、わが国の主要なODA実施機関として、途上国が抱えている多種多様な課題について、相手国に本当に必要なことは何か、を知ることから取り組んでいます。このため、昨年は基礎調査部を設置し、実施体制を整備しています。また、援助する側の国になりつつある東アジア諸国が他の途上国に対して行う南南協力を支援しています。幅広い人材の参加を得て、より効果的な協力を行うため、日本国内の地方自治体と連携した協力や、民間企業などでの実務経験をもっている中・高年ボランティアの派遣の拡充にも努めています。

JICAは設立以来、「人づくり、国づくり、心のふれあい」を合言葉に活動していますが、今後もきめ細かく、工夫しながら協力を推進してまいります。なお、今年、1965年に青年海外協力隊が発足し、5名の協力隊員が初めてラオスの地を踏んでから30年目という節目にあたります。協力隊事業はさまざまな方からのご理解とご支援のもとに、1994年までの間に延べ62カ国、1万4614名の隊員を派遣してまいりました。これら隊員一人一人の活動が多くの人々の共感を呼び、協力隊活動への理解が広まってきていることは、大変心強くまた喜ばしいことです。

ここにJICAの活動を取りまとめ、1995年版国際協力事業団年報を刊行します。この年報が、より多くの人々に国際協力の実情をご理解いただくための一助になれば幸いです。

1995年10月

国際協力事業団

総裁

藤田心部

目 次

—国際協力事業団年報の見方—

■第1部 国際協力とJICA

第1章 わが国のODAとJICA事業概況

わが国のODAとJICA	3
1994年度JICA事業概況	9

第2章 新たな課題への取り組み

JICA20年の歩み——人づくりをめざして	12
環境、人口、WIDなど地球規模の問題への対応	19
国別アプローチと評価機能の拡充・強化	26
プロジェクト形成機能の強化	28
国民参加型援助の推進	30
先進国、国際機関との連携	33
途上国間協力（南南協力）支援の推進	34

■第2部 地域別事業概要

第1章 アジア地域Ⅰ（東・東南アジア）	39
---------------------------	----

第2章 アジア地域Ⅱ（南西アジア）	47
-------------------------	----

第3章 中近東地域	53
-----------------	----

第4章 アフリカ地域	58
------------------	----

第5章 中米・カリブ地域	67
--------------------	----

第6章 南米地域	74
----------------	----

第7章 オセアニア地域	80
-------------------	----

第8章 ヨーロッパ地域	84
-------------------	----

第9章 中央アジア地域	87
-------------------	----

■第3部 事業への取り組み

第1章 発掘形成・計画作成事業

案件の発掘と形成	93
開発調査	98

第2章 事業の実施

プロジェクト方式技術協力	102
技術研修員受入	105
技術協力専門家派遣	111
技術協力機材供与	114
青年海外協力隊	115
無償資金協力	118
開発協力	122
災害緊急援助	125
海外移住	129
技術協力専門家養成・確保	134
技術協力専門家等の福利厚生	138

第3章 評価、フォローアップ

評価	139
フォローアップ	141

■付表 1994年度総括事業実績

1. 形態別人数実績	145
1. アジア地域	145
2. 中近東地域	146
3. アフリカ地域	147
4. 中南米地域	148
5. オセアニア地域	149
6. ヨーロッパ地域	150
7. 国際機関	151
8. 全世界	152
2. 事業別人数実績	153
3. 事業別経費実績	154

■参 考 事業団の組織と予算

1. 国際協力事業団の沿革	156
2. 組織と定員	158
3. 予算	158

■コラム

ODAとは	5
ケニア 草の根で活躍する女性を支援——第二国研修を通してWIDに取り組む	21
国づくり知的支援——旧社会主義国で専門家が活躍	111
シニア協力専門家——中高年層のボランティア事業	113

■図 表

経済協力と政府開発援助	4
1993年、94年のDAC諸国のODA実績	7
1994年のわが国のODA実績	8
わが国のODA実績とJICA事業	9
JICA予算の推移	10
形態別人数実績の推移	10
地域別経費実績構成比	11
分野別経費実績構成比	11
JICA予算と定員の推移	13
形態別人数実績の推移（1952年以降）	14
1994年度の環境分野の動き	19
環境協力事業別実績	20
環境協力地域別実績	20
環境協力分野別実績	20
協力案件の発掘・形成、実施、評価の関連図	95
開発調査の対象分野	98
開発調査の手順	100
プロジェクト方式技術協力の手順	103
研修員受入事業の形態と1994年度新規受入実績	107
無償資金協力の実施手順	119
開発協力事業の内容	122
開発協力事業の手順	123
災害緊急援助決定の仕組み	126
わが国の国際緊急援助体制	127
開発青年送出実績	130
移住シニア専門家派遣実績	132
1995年度予算	159
国際協力事業団組織図（1995年度機構）	160
国際協力の進展——1994年度のJICAの歩みと内外の動き	162

国際協力事業団年報の見方

1. この年報は1994年度（1994年4月1日から1995年3月31日まで）の国際協力事業団の活動をまとめたものです。
2. 収録した実績の集計は、国際協力事業団に関するものは上記会計年度を、政府開発援助（ODA）に関するものは暦年（1994年1月1日から1994年12月31日まで）を対象としています。
3. 金額のドル表示はすべて米ドルです。
4. 集計の対象地域は以下の6つに分類しています。
 - アジア地域
 - 中近東地域（アフガニスタン以西サハラ砂漠以北）
 - アフリカ地域（サハラ砂漠以南）
 - 中南米地域
 - オセアニア地域
 - ヨーロッパ地域
5. 国際協力事業団の行う事業の形態は以下のように分類しています。
 - 研修員受入
 - 専門家派遣
 - 調査団派遣
 - 青年海外協力隊派遣
 - 機材供与
 - 移住者送出
6. 事業の分野は、技術協力では
 - 計画・行政
 - 公共・公益事業
 - 農林水産
 - 鉱工業
 - エネルギー
 - 商業・観光
 - 人的資源
 - 保健医療
 - 社会福祉
 - その他に、無償資金協力では
 - 保健医療
 - 教育・研究
 - 民生・生活・環境改善
 - 農林水産業
 - 運輸・通信
 - その他に分類しています。
7. より詳しい実績については、『国際協力事業団年報1995 資料編』をご覧ください。

よりよい明日のために ともに汗を流す



開発調査

ニジェール南西部の地形図作成のための水準測量作業



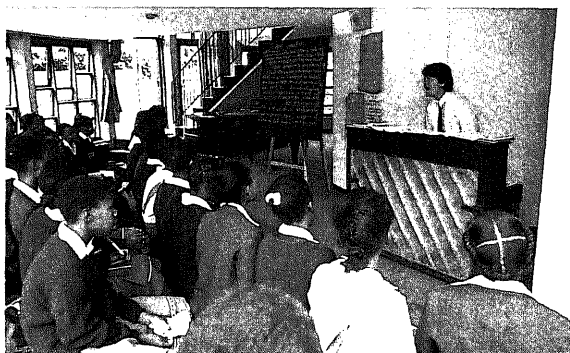
無償資金協力

バングラデシュ最大の幹線道路に無償資金協力で建設されたメグナグムティ橋



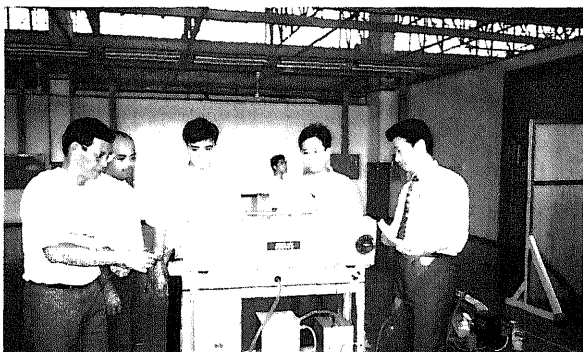
青年海外協力隊

ニカラグアで子どもたちに水泳を指導する協力隊員



青年海外協力隊

ジンバブエの高校の音楽の授業。
隊員が教師を務める



開発協力

フィリピンの貿易工業省製品規格局で電気製品の規格適合試験を行う



青年招へい

高校を訪問したミャンマーの教員グループ。
生徒、教員との交流・研修を通じて、日本の教育について理解を深めた



専門家の派遣

パナマの職業訓練庁で家具木工技術を指導する



プロジェクト方式技術協力

フィリピン タラック州の保健所で。
人口・家族計画・母子保健プロジェクトの一環として
全国予防接種デーで活動する専門家



プロジェクト方式技術協力

中国 北京蔬菜研究センターで
温室栽培のトマトを調べる専門家とカウンターパート



研修員の受入れ

神奈川県国際水産研修センターの「養殖一般コース」で学ぶ研修員



国際緊急援助隊

インドネシア メラビ火山噴火災害の被災者を治療する
医療専門家チーム



海外移住

ブラジル ベルナンブコ州ベトロリーナの
広大なタマネギ畑で
収穫作業を終えた移住者親子